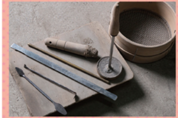
昔ながらの手作業で鋳物を生み出し社会に役立つ製品を作り続けたい

東日本金属株式会社

今井　潤さん（28歳）

練馬区出身。高校卒業後、調理の専門学校に進む。飲食店で働くものの、本当にやりたいことはものづくりだと気づき、転職を決意。製造の世界をめざし、高校の同級生の実家である東日本金属株式会社へ。現在は鋳造部で技術を修得中。



砂を固めるためのスタンプなど、砂型を作るときに使う道具。これらの道具を使いこなすことが、型込め上達の必須条件

知識も技術もゼロからのスタート。一念発起で鋳造の世界へ飛び込んだ！

やりたいことを改めて考えたとき、もともと作ることが好きなこともあり、ものづくりの仕事がしたいと思ったのです。子どもを一人で育てていくという事情もあって、なにか手に職をつけたいとも考えました。そのとき頭に浮かんだのが、高校時代に目にしていた工場の風景と、そこで働く職人さんの姿でした。実はここ、東日本金属株式会社は高校の同級生の実家で、昔からよく遊びに来ていたのです。

友人にも相談し転職を決意。知識も技術もゼロだったので、とにかくがむしゃらに覚えていくしかない。与えられた仕事はなんでもやってみようと思いました。入社して3年目。今も少しずつ自分ができることを増やしているところです。

砂型を作る「型込め」作業。力加減が本当に難しく、今はひたすら練習あるのみです！

製品の出来にも響く砂型づくり。ただいま型込め作業を習得中

私が働く鋳造部門では、天然の山砂を使って砂型を作り、そこに溶かした真鍮を流し込んで製品を作ります。私は、その砂型を作る「型込め」の技術を習得しているところ。これが超がつくほど難しい。砂を型に押すときの力加減が微妙なのです。弊社の製品は一つひとつ手作り。つまり製品の数だけ砂型が必要で、同じものを何百個と作らなければなりません。効率よく短時間で作ることが求められる一方で、型の出来は製品に影響します。どこまで砂を固めればいいのか、練習を繰り返し、自分なりのやり方を見つけていくしかないのです。

自分が初めて型込めしたものが、きれいに加工され、ドアのハンドル部品として製品になっているのを見たときは感動しました。街を歩いていると、ときどき弊社の製品を見かけます。ものづくりに携わっている実感がわき、やりがいを感じます。

いつか自分も先輩のように憧れの流し込み作業をやりたい！

鋳造工程で、私がいちばん面白いと思うのは、流し込み。自分はまだ、砂型を並べて、積み重ねたり運んだりというサポート役ですが、それも流し込む先輩と呼吸を合わせることが大事なんです。熱いうちに流し込む必要があるので、安全に、かつ作業効率も考えてスピーディに動かなければいけません。次に自分が何をするかを頭に入れ、すぐに次の作業に移れるように心がけています。そばで見ていて、流し込みをする先輩の姿はとてもかっこいい。いつかは自分も、と思いながら作業をしています。

溶けて液状化した金属を小さな穴に流し込む。チームワークが必要な作業です

ものづくりの世界は自分にとって新鮮なことばかり。おおーっという感動があります。火を使う作業だから夏場は非常に暑く、冬場は砂が水分を含んでいるため冷たく寒い。そういう意味での働く環境はとても厳しいけれど、その分、職場の人たちがとても温かいんです。二人の子どもの存在も、仕事のモチベーションになっていますね。

自分で仕事をつくり出せる、それが自分にとっての理想の職人

まずは型込めと、流し込みの作業ができるようになるのが目標。何十年かかるかわからないけれど、少しでも早く一人前の職人になりたい。仕事を与えられているうちはダメだと思う。社長や主任のように、自分から仕事を見いだし、新たな仕事を取ってくる。そういう職人をめざしたいと思います。

誰に何を言われても、自分が本当にやりたいことを貫いたほうがいい。たとえ失敗しても自分自身を信じ続ければ、きっと後悔はしないと思います。

今井さんのお仕事とは？

建築金物製造

鋳造とは、金属を熱して液体状にしたものを鋳型に流し込み、冷やして固める加工法。東日本金属株式会社が得意とするのは建築金具で、あえて昔ながらの手作業で丁寧に一つひとつ作るため、熟練の技を身につけることが求められる。本文で紹介した「型込め」や「流し込み」のほか、今井さんが現在担当している「中子（なかご）」という製品の空洞を作る作業などがあり、奥深いものづくりの世界が広がる。職場のチームワークも大切だ。

今井さんのとある1日のスケジュール

- 5:30 起床
- 6:00 朝食・身支度
- 7:00 子どもを保育園に送り、バイクで通勤
- 8:00 始業・ラジオ体操 朝礼で作業の流れを共有
- 前日に作った鋳物を加工に回す出荷作業
- 不良品のチェック
- 中子の製作作業
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 午後の業務開始
- 型込めの練習
- 流し込み作業の補助
- 17:30 終業 残業して機械加工の部署を手伝う
- 18:30 保育園へ子どものお迎え
- 19:00 帰宅後、子どもと一緒に夕食
- 22:30 就寝

東日本金属株式会社

墨田区立花2-6-4
TEL 03-3618-2477

大正7年創業の鋳物専業メーカー。昭和43年に現在の東日本金属株式会社に社名変更。昔ながらの鋳造法で、ドアや窓の取っ手、錠前、飾り金具などの建築金具を製造。鋳造から製品までの一貫作業で、1個ずつ作り込む多品種少量のニーズやこだわりの特注金具の製造依頼にも応える。明治生命館や旧岩崎邸をはじめ、重要文化財建造物の金物復元から、東京スカイツリーのエレベーター内の飾り金具まで、様々な場所に製品が使われている。

取材しました！

何十年かかっても一人前の職人になると言い切る姿がかっこよく、目の前のことに一生懸命取り組むことの大切さが伝わってきました。